

もうひと踏ん張りすっぺ。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、引き続き市民の皆さまのご協力をお願いします。

＊ CONTENTS

- 02 新型コロナウイルス感染症関連特集
- 06 行政情報／寄付寄贈／男女共同参画週間
- 07 不動産公売に参加しませんか／雨引山楽法寺から防災関連品の提供
- 08 桜川市職員の給与など公表
- 09 ヤマザクラ通信 vol.15
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 さくら川百貨選定商品をご紹介します

市内で感染拡大を防ぐために

市内の福祉施設、医療機関などにマスクを配布

■ 配布枚数／約6万枚

■ 主な配布先

- ・福祉施設、医療機関、学童保育、保育施設など75施設
- ・妊婦、民生委員など



■ 市民全員にマスクを配布

■ 配布枚数／約21万枚（1人あたり5枚）

■ 配布先／桜川市民41,0

＊ 表紙

もうひと踏ん張りすっぺ



5月の大型連休をピークに、市内の大半の田んぼには稲の苗が植わり、田植えも一段落しました。

写真は5月3日、夫婦仲良く“もうひと踏ん張り”補植している様子を撮影したものです。

新型コロナウイルス感染症の影響が各方面にでていますが、“もうひと踏ん張り”する姿勢を思い起こさせてくれました。

特別定額給付金の申請はお済みですか

68人（4月17日現在、住民基本台帳人口）
全世帯を対象に除菌効果が期待できる次亜塩素酸水を配布
■ 配布量／1世帯1回1ℓ



引き続き、手洗い、咳エチケットの徹底、3密（密閉、密集、密接）を避けるなど、ご協力をお願いします。
■ 問合せ／健康推進課（☎0296-75-3159直通）

市では、5月1日からオンライン申請受付を開始し、5月11日には申請書類を郵送しました。

■ 給付対象者／令和2年4月27日時点で、住民基本台帳に記録されている方

■ 受給権者／給付対象者の属する世帯の世帯主

■ 給付額／給付対象者一人につき10万円

■ 申請方法

- ・ 郵送申請／郵送された申請書に振込先口座を記入し、振込先口座の確認書類と本人確認書類の写しを添付して、市へ郵送

※オンライン申請は、二重申請などが散見されており、迅速な給付のために、5月29日から受付を中止しています。

＊ 桜川市の人口と世帯

【人口】	39,197人	(－83)
【男】	19,410人	(－44)
【女】	19,787人	(－39)
【世帯】	13,737世帯	(+23)
	()は対前月増減	
	常住人口	
	令和2年5月1日現在	

■ 申請期限／8月11日（火）

■ 問合せ／企画課 特別定額給付金室（☎0296-45-7820※土・日、祝日を除く8時30分から17時15分）、特別定額給付金コールセンター（☎0120-260-020※土・日、祝日を除く9時～18時30分）

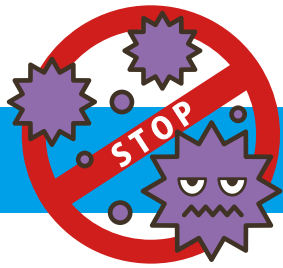
■ 申請前にチェック

- 記入もれはありませんか。
- 振込口座に間違いはありませんか。
- 世帯主の印もれはありませんか。
- 本人確認書類の写しは添付しましたか。
- 振込先金融機関口座の写しは添付しましたか。

新型コロナウイルス感染症の影響による経済支援

※下記のほかに適用要件がある場合がありますので、事前に各窓口へお問い合わせください。

	給付・貸付額	問合せ先
もらえるお金 売上げが減少した場合	【休業要請協力金】 1事業者最大30万円 (1事業者10万円。事業所を賃借している場合10万円加算。複数賃借している場合さらに10万円を加算。)	茨城県 休業要請・協力金対策チーム ☎029-301-5375
	【持続化給付金】 中小企業200万円(上限)・個人事業100万円(上限)	経済産業省 持続化給付金事業コールセンター ☎0120-115-570
	【雇用調整助成金】 従業員を休業させた場合…中小企業に対し4/5を助成 ※従業員を解雇しない場合は、9/10を助成	茨城労働局 ☎029-224-6219 ハローワーク筑西 ☎0296-22-2188
	【雇用調整助成金上乘せ】 従業員を解雇しない場合は、雇用調整助成金支給決定額の1/10を助成	茨城県 新型コロナウイルス感染症 中小企業支援対策室 ☎029-301-2869
	【学校等休業助成金・支援金】 事業者…休暇中に支払った賃金相当額 フリーランス…4,100円/1日	厚生労働省 相談コールセンター ☎0120-60-3999
借りるお金 売上げが減少した場合	【新型コロナウイルス感染症対策融資】 ■限度額/8千万円 ■期間/10年(据置5年) ■利子/3年間無利子・無担保(限度額3千万円) ■保証料/3千万円まで不要	茨城県 新型コロナウイルス感染症 中小企業支援対策室 ☎029-301-2869
	【パワーアップ融資】 ■限度額/5千万円 ■期間/7年(据置2年) ■利子/3年間無利子 ■保証料/不要	
	【新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金】 ■限度額/2百万円 ■期間/最長20年(据置5年) ■利子/無利子・無担保	
維持が困難な場合 離職などで生計の	【生活福祉資金の特例貸付】 ※緊急小口資金 ■貸付上限額/20万円以内 ■償還期限/2年以内(据置1年以内) ■利子/無利子 ■保証人/不要 ※総合支援資金 ■貸付上限額/単身世帯(月15万円以内) 2人世帯(月20万円以内) ■貸付期間/原則3か月以内 ■償還期限/10年以内(据置1年以内) ■利子/無利子 ■保証人/不要	桜川市福祉協議会 岩瀬福祉センター ☎0296-76-1357 真壁福祉センター ☎0296-54-2361
	払えない場合 離職などで家賃が	【住居確保給付金】 ■支給上限額/単身世帯3.4万円、2人世帯4.1万円、3人世帯4.4万円 ■支給期間/原則3か月以内(条件により最長9か月)



身の回りを清潔にして、 新型コロナウイルス感染予防

■問合先／健康推進課（☎ 0296-75-3159 直通）

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、アルコールよりも、塩素系漂白剤や熱水が有効です。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。
ハイター、ブリーチなど。



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。
火傷に注意してください。

【塩素系漂白剤を取り扱う際の注意】

- ・家事用手袋を着用して行ってください。
- ・金属は腐食することがあります。
- ・換気をしてください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行ってください。



手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。
さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10 秒もみ洗い後 流水で 15 秒 すすぐ	1 回	約 0.01% (数百個)
	2 回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

新型コロナウイルスに便乗した悪質商法や詐欺にご注意

■問合先／桜川市消費生活センター（☎ 0296-75-6300）

新型コロナウイルスの感染拡大に関連した相談が、全国で増えています。正確な情報に基づいて、冷静に対応しましょう。

不審に思った場合やトラブルにあった場合は、消費生活センターや最寄りの警察署にご相談ください。

- ▶ 「新型コロナウイルスが水道水に混ざっている」など根拠のない話には絶対に耳を貸さない。
- ▶ 心当たりのない怪しいメールが届いても、**反応しない**。
- ▶ 新型コロナウイルスに便乗した悪質な勧誘を行う業者には**耳を貸さない**。



消費者庁
Consumer Affairs Center of Japan

**新型コロナ関連
消費者向け情報**

公式LINEアカウント





LINE 友だち追加



株式会社ヒロサワ（廣澤正樹代表取締役）から、市民の感染拡大防止に役立ててほしいと、窓口カウンター用衝立7台の寄贈がありました。



市役所の窓口を設置した衝立を囲む大塚市長と廣澤代表取締役（左）

白田祥子さんとお母さんから、市内の中学生のために役立ててほしいと、サージカルマスク1千枚の寄贈がありました。



大塚市長にサージカルマスクを手渡す白田祥子さん（中央）とお母さん（右）

笠間青年会議所、岩瀬・常陸大和・真壁ライオンズクラブ、岩瀬・真壁ロータリークラブから、感染症対策に役立ててほしいと、マスク5千枚の寄贈がありました。



大塚市長にマスクを寄贈する6団体の皆さん

カラオケハウス愛（池田しつ代さん）から、マスク不足の解消に役立ててほしいと、手作り布マスク200枚の寄贈がありました。



大塚市長に手作り布マスクを手渡すカラオケハウス愛の皆さん

小仁所司さんから、感染症対策など市のために役立ててほしいと、10万円の寄付がありました。



ナチュラルペットフーズ株式会社（小川進弘社長）、株式会社筑波銀行（生田雅彦頭取）から、児童生徒の感染症対策に役立ててほしいと、マスク6千枚の寄贈がありました。



稲川教育長にマスクを寄贈する小川社長（中央）と大崎正勝岩瀬支店長（左）

桜川市未来クラブ協同組合（白田唯雄理事長）から、感染症対策に役立ててほしいと、マスク1万枚の寄贈がありました。



大塚市長にマスクを手渡す桜川市未来クラブ協同組合の皆さん

桜川中学校（田嶋貴子校長）の教職員有志から、市の福祉に役立ててほしいと、手作り布マスク200枚の寄贈がありました。



市執行部に手作り布マスクを手渡す田嶋校長（左）

市内に本社のある繊維メーカーから、市内の小・中・義務教育学校の児童生徒のために役立ててほしいと、同社で製作したマスク2万枚の寄贈がありました。



鈴木政宏さんから、市の福祉に役立ててほしいと、マスク1千枚の寄贈がありました。

